

油プロ 富士鉦 グループ 物流分野の安全を確保 第8回 荷役コンテスト



荷役従業者のスキルアップ——作業の安全性確保を狙う

富士鉦油（本社・東京、園木章夫社長）グループの富士鉦油運輸（本社・東京、濱野豊社長）は八日、横浜市の富士鉦油横浜支店で「LPGローリー荷役コンテスト」を行った。LPGガス流通の動脈であるローリー輸送の安全・安心体制向上の一環で展開している

もので今年が八回目。民生用バルク供給のモデル作業（バルク貯槽への充填供給）の紹介もあった。コンテストは富士鉦油運輸の本間浩司・安全推進リーダーが模範演技を披露した後、富士鉦油グループが定めているマニュアルに沿って各社のローリー乗務

員代表七人が荷役作業を進めた。作業は全体で二十段階。各段階のチェック項目は最大で八項目あり、審査員五人が厳正に採点した。グループを代表してあい

さつした園木・富士鉦油社長は「安全確保に完全はなく、現状に慢心せず今後も地道に努力を続けるようお願いしたい」と要請。その上で「当社はお客さまに期待以上の満足を提供するチアーズスタイル」の実

践を掲げているが、今年から新たに「安全安心」と『環境への貢献』も加え、グループ挙げて取り組んでいる。いかに作業マニュアルが徹底していても、ヒューマンエラーは起こりえる。富士鉦油グループはヒューマンエラーさえも防ぎえる仕組み、気づかいを備えた社員による組織体制を協力会社各社を含めてつくり上げていきたい」と指摘した。

濱野・富士鉦油運輸社長は「運輸業界は厳しい経営環境下であり、合理化への追求が進んでいる。その中で荷主の期待に応えるには、お客さまに安全第一でお届けするという気持ちで、日々の業務に取り組むことが大切だ」などと激励した。西田大八郎・富士鉦油顧問が講評を述べたほか、柴川清二郎・富士鉦油営業グループマネージャーのあいさつがあった。

協力会社を代表して大川秀明・大川運輸社長は「基本的に忠実な業務に精励することによって一層の保安確保に努めていこう」と呼びかけた。